

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-331398

(43)Date of publication of application : 30.11.1999

(51)Int.Cl.

H04M 11/00
B41J 29/38
G03G 21/00
G06F 3/12
H04N 1/00
H04N 1/21
H04N 1/32

(21)Application number : 10-139926

(71)Applicant : MITA IND CO LTD

(22)Date of filing : 21.05.1998

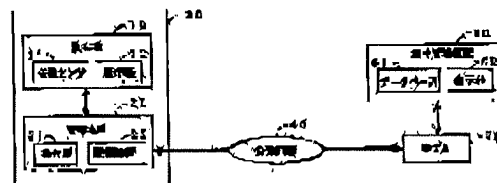
(72)Inventor : HASHIMOTO YASUHIRO
NAGIRA JIRO
MASAI KATSUNORI

(54) IMAGE FORMING DEVICE CONTROL SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an image forming device control device capable of automatically deleting an emergency report which becomes unnecessary among respective lists of the emergency report list to be displayed on the list by a centralized controller and easy to see the emergency report list.

SOLUTION: The centralized controller 60 is provided with a means to prepare the emergency report list to be transmitted from respective controller 20 on the list and to store it in a storage device 22 and a means to display the emergency report list stored in the storage device 22 on a display 62 based on operation by a manager. When a fact that a trouble is dissolved is informed from the controller 20, a listed part prepared based on the emergency report transmitted when the trouble occurs is deleted from the emergency report list stored in the storage device 22.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-331398

(43) 公開日 平成11年(1999)11月30日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
H 0 4 M 11/00	3 0 1	H 0 4 M 11/00 3 0 1
B 4 1 J 29/38		B 4 1 J 29/38 Z
G 0 3 G 21/00	3 9 6	G 0 3 G 21/00 3 9 6
G 0 6 F 3/12		G 0 6 F 3/12 K
H 0 4 N 1/00	1 0 6	H 0 4 N 1/00 1 0 6 C

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-139926

(22) 出願日 平成10年(1998) 5月21日

(71) 出願人 000006150

三田工業株式会社

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

(72) 発明者 橋本 康弘

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(72) 発明者 柳楽 二郎

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(72) 発明者 正井 克典

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

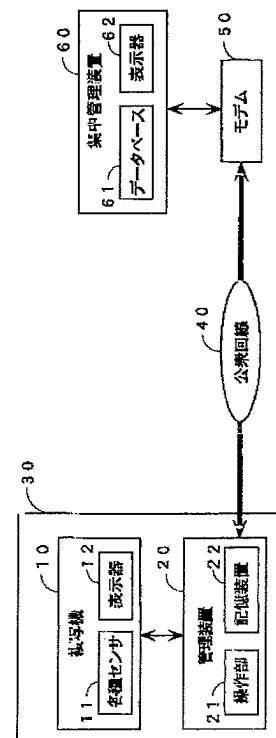
(74) 代理人 弁理士 香山 秀幸

(54) 【発明の名称】 画像形成装置の管理システム

(57) 【要約】

【目的】 この発明は、集中管理装置で一覧表示される緊急レポートリストの各リストのうち、不要となったものを自動的に削除でき、緊急レポートリストが見やすくなる画像形成装置の管理装置を提供することを目的とする。

【構成】 集中管理装置は、各管理装置から送られてくる緊急レポートの内容を一覧表示させるための緊急レポートリストを作成して記憶装置に記憶させる手段、管理者の操作に基づいて、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストを表示器に一覧表示させる手段、ならびにトラブルが解消したことが管理装置から通知されたときには、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストから、当該トラブルが発生したときに送られてきた緊急レポートに基づいて作成されたリスト部分を削除する手段を備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像形成装置とその管理装置とを含む端末機と、端末機を管理する集中管理装置とからなる画像形成装置の管理システムにおいて、管理装置は、管理している画像形成装置にトラブルが発生したことが検出されたときに、その旨を含む緊急レポートを集中管理装置に送信することにより、トラブルが発生したことを集中管理装置に通知する手段、および管理している画像形成装置側においてトラブルが解消したことが検出されたときには、トラブルが解消したことを集中管理装置に通知する手段を備えており、集中管理装置は、各管理装置から送られてくる緊急レポートの内容を一覧表示させるための緊急レポートリストを作成して記憶装置に記憶させる手段、管理者の操作に基づいて、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストを表示器に一覧表示させる手段、ならびにトラブルが解消したことが管理装置から通知されたときには、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストから、当該トラブルが発生したときに送られてきた緊急レポートに基づいて作成されたリスト部分を削除する手段を備えていることを特徴とする画像形成装置の管理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】この発明は、複写機等の画像形成装置の管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】複写機の管理システムとして、複写機と管理装置とを備えた複数の端末機が、ホストコンピュータからなる集中管理装置に公衆電話回線を介して接続されてなるものがある。このような管理システムにおいては、端末機側の管理装置は、複写機の故障、契約切れ、メンテナンス時期等を、公衆電話回線を介して緊急レポートとして集中管理装置に送信する。集中管理装置は、各端末機から送られてきた緊急レポートの内容を、緊急レポートリストとして一覧表示する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の方法では、集中管理装置が管理する端末機の台数が多くなるにつれて、また日時が経過するにつれて、緊急レポートリストのリスト数が多くなり、緊急レポートリストが見にくくなる。そこで、従来は、故障が復旧した場合、メンテナンスが完了した場合には、それに対応するリストを管理者が手作業で削除していたが、この削除作業は非常に面倒であった。

【0004】この発明は、集中管理装置で一覧表示される緊急レポートリストの各リストのうち、不要となったものを自動的に削除でき、緊急レポートリストが見やすくなる画像形成装置の管理装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明による画像形成装置の管理システムは、画像形成装置とその管理装置とを含む端末機と、端末機を管理する集中管理装置とからなる画像形成装置の管理システムにおいて、管理装置は、管理している画像形成装置にトラブルが発生したことが検出されたときに、その旨を含む緊急レポートを集中管理装置に送信することにより、トラブルが発生したことを集中管理装置に通知する手段、および管理している画像形成装置側においてトラブルが解消したことが検出されたときには、トラブルが解消したことを集中管理装置に通知する手段を備えており、集中管理装置は、各管理装置から送られてくる緊急レポートの内容を一覧表示させるための緊急レポートリストを作成して記憶装置に記憶させる手段、管理者の操作に基づいて、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストを表示器に一覧表示させる手段、ならびにトラブルが解消したことが管理装置から通知されたときには、記憶装置に記憶されている緊急レポートリストから、当該トラブルが発生したときに送られてきた緊急レポートに基づいて作成されたリスト部分を削除する手段を備えていることを特徴とする画像形成装置の管理システム。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、この発明を複写機の管理システムに適用した場合の実施の形態について、説明する。

【0007】図1は、複写機の管理システムの概略構成を示している。

【0008】複写機10と管理装置20とを備えた複数の端末機30が、公衆電話回線40およびモデム50を介してホストコンピュータからなる集中管理装置60に接続されている。

【0009】複写機10は、図示しないCPUの他、各種センサ11、表示器12等が設けられている。管理装置20には、図示しないCPUの他、サービスマンによるメンテナンスが完了したときに、サービスマンによってメンテナンス完了レポートを集中管理装置60に送信させるための操作部21、記憶装置22等が設けられている。集中管理装置60には、図示しないCPUの他、データベース61、表示器62等が設けられている。

【0010】(1)緊急レポートリストの作成についての説明

【0011】複写機10でジャム、故障等のトラブルが発生したことが、複写機10内の給紙部、搬送部、現像部等に設けられたセンサ11によって検出されると、複写機10内の表示器12にその旨が表示されるとともに、トラブルの種類を示す検知信号が管理装置20に送られる。

【0012】トラブルの種類を示す検知信号には、この例では、ジャムを示すJAMコードと、故障を示すCコ

ードとがあるとする。管理装置20は、複写機から故障を示すCコードが送られてきた場合には、そのコードを記憶装置22に記憶するとともに、公衆電話回線40を介して集中管理装置60にCコードを含むCコールを緊急レポートとして送信する。

【0013】複写機10からジャムを示すJAMコードが管理装置20に送られてきた場合には、そのコードを記憶装置22に記憶するとともに、JAM継続時間の計時を開始する。そして、計測されたJAM継続時間が、所定の基準時間に達すると、JAMコードを含むJAMコールを緊急レポートとして集中管理装置60に送信する。また、管理装置20は、メンテナンス時期、契約切れ（契約カウント切れ）等をも、緊急レポートとして集中管理装置60に送信する。なお、緊急レポートには、送信元の複写機10のID番号、コピー枚数を示すカウント数が含まれている。

【0014】集中管理装置60は、緊急レポートを受信すると、その受信内容等を含む緊急レポートリストを作成してデータベース61に記録する。データベース61に記録された緊急レポートリストは、集中管理装置60の表示器62にリスト表示することができるようになっている。

【0015】このリスト表示は、図2に示すように、複写機のID番号、顧客名、機種名、トータルコピー枚数を示すカウント数、緊急レポートの内容（Cコールの内容、JAMコールの内容、メンテナンス時期、契約カウント切れ等）および緊急レポートの受信日時（通信日）からなる。顧客名、機種名は、ID番号に基づいて集中管理装置60のデータベース61から取得されて、表示される。

【0016】（2）緊急レポートリスト内のリスト削除についての説明

【0017】CコードまたはJAMコードが、複写機10から管理装置20に送られた後に、ユーザ等によってトラブルが解消することがある。たとえば、ジャムが発生し、JAMコールが複写機10から出力された後に、ユーザによって複写機内に詰まった記録紙が取り除かれると、トラブルが解消する。また、複写機が故障し、Cコードが複写機10から出力された後、ユーザ等によって複写機の故障が解消されることがある。

【0018】このような場合には、複写機10内の給紙部、搬送部、現像部等に設けられたセンサ11からは、ジャム検知信号または故障検知信号が出力されなくなる。この状態で、1枚のコピーが取られ、異常がなかつ

た場合には、ジャム解除信号または故障解除信号が複写機10から管理装置20に送られる。管理装置20は、ジャム解除信号または故障解除信号が送られてくると、集中管理装置60にリセットコール（リセットJAMコールまたはリセットCコール）を含むレポートを送信する。なお、リセットコールを含むレポートには、送信元の複写機10のID番号、コピー枚数を示すカウント数が含まれている。集中管理装置60は、リセットコールを含むレポートを受信すると、データベース61に記録されている緊急レポートリストから、当該複写機の対応するリストを削除する。

【0019】たとえば、図2の緊急レポートリストにおける第1欄のリスト（ID番号：1、レポート内容：C-613）に対応する端末機30の管理装置20から、図3に示すような、当該故障が解消したことを示すリセットCコールを含むレポートが送られてきた場合には、緊急レポートリストにおける第1欄の緊急レポート（ID番号：1、レポート内容：C-613）が削除される。この結果、緊急レポートリストの内容は図4に示すように変化する。

【0020】また、管理装置20から、メンテナンス完了レポートが集中管理装置60に送られてきた場合にも、緊急レポートリストのうち当該メンテナンス時期を示していたリストが削除される。

【0021】

【発明の効果】この発明によれば、集中管理装置で一覧表示される緊急レポートリストの各リストうち、不要となったものが自動的に削除されるので、緊急レポートリストが見やすくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】複写機の管理システムの概略構成を示すブロック図である。

【図2】集中管理装置のデータベースに記憶される緊急レポートリストの内容を示す模式図である。

【図3】リセットCコールを含むレポートの内容を示す模式図である。

【図4】緊急レポートリストから不要なリストが削除された例を示す模式図である。

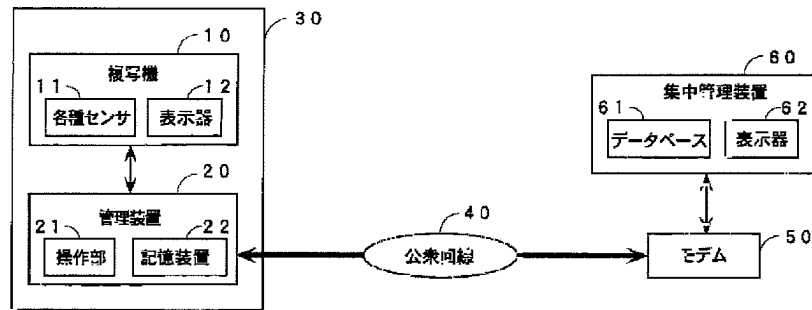
【符号の説明】

- 10 複写機
- 20 管理装置
- 30 端末機
- 40 公衆電話回線
- 60 集中管理装置

【図3】

ID番号	顧客名	機種名	カウント	レポート内容	通信日
1	ABC会社	DC-6090	13210	リセットCコール	1998,4,20

【図1】



【図2】

ID番号	顧客名	機種名	カウント	レポート内容	通信日
1	ABC会社	DC-6090	13200	C-613	1998,4,16
4	DEF商店	DC-4090	5600	メンテナンス時期	1998,4,18
8	XYZ会社	DC-8090	28700	契約カウント切れ	1998,4,19
4	DEF商店	DC-4090	5700	C-310	1998,4,20
7	OPQビル	AC-6500	41770	JAM-31	1998,4,20

【図4】

ID番号	顧客名	機種名	カウント	レポート内容	通信日
4	DEF商店	DC-4090	5600	メンテナンス時期	1998,4,18
8	XYZ会社	DC-8090	28700	契約カウント切れ	1998,4,19
4	DEF商店	DC-4090	5700	C-310	1998,4,20
7	OPQビル	AC-6500	41770	JAM-31	1998,4,20

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

H04N 1/21
1/32

識別記号

F I

H04N 1/21
1/32

Z